

東京都歯科保健目標

いい歯東京

平成23年度～平成27年度



平成23年 1月

 東京都福祉保健局

はじめに

東京都では、都民のすべてが歯と口腔の健康を保ち、健康寿命を延ばして豊かな生活ができるよう、独自の歯科保健目標を設定し、様々な施策を展開しています。

「西暦2010年の歯科保健目標」は、平成12年度から平成22年度までの10年間の目標であるため、昨年度は区市町村を始め多くの関係機関に御協力を頂きながら、目標の達成度評価及び新たな歯科保健目標設定のための達成度調査を実施しました。

調査の結果、う蝕罹患状況は改善傾向にあり、かかりつけ歯科医による専門的口腔ケアを受ける習慣の定着が進むなど、都民の歯と口腔の状況はこの10年間でかなり改善されました。しかし、う蝕罹患状況の地域差や歯肉炎や歯周病の予防など、依然として課題も残っています。

またこの間、食育基本法の制定や介護保険法の改正が行われ、口腔と全身の健康の関連に関する新たな知見が得られるなど、歯と口腔の健康づくりを取り巻く環境は大きく変わりました。

このため、新たに設定した歯科保健目標「いい歯東京」は、従来の「う蝕や歯周病等歯科疾患の予防」に加え、「子育て支援」や「食育」、「口腔機能の保持・増進」といった新たな視点を盛り込み、生涯にわたる「歯と口腔の満足度の向上」及び「8020運動の推進」を具体的に目指す目標となっております。また、都全体で目標達成を目指すため、都民一人ひとりの健康づくりを支援する「かかりつけ歯科医による支援」、「区市町村による健康づくり」、「東京都による基盤整備」の現状を示しました。

新たな歯科保健目標「いい歯東京」の実現に向け、都民の歯と口腔の健康づくりをより一層推進して参ります。

平成23年1月

東京都福祉保健局

医療政策部長 中川原 米俊

目 次

はじめに

第1章 「西暦2010年の歯科保健目標」の達成度評価	1
第1節 成人期・高齢期の目標達成状況	1
第2節 幼児期・学齢期の目標達成状況	8
別表1 「西暦2010年の歯科保健目標」の達成状況	14
第2章 新たな歯科保健目標「いい歯東京」	16
第1節 目標設定の基本方針	16
第2節 いい歯東京	18
1 全体目標	18
2 個別目標	19
3 かかりつけ歯科医及び区市町村の支援	29
第3節 「いい歯東京」の達成に向けて	31
1 都民が取り組む健康づくり（セルフケア）	31
2 かかりつけ歯科医による支援の定着（プロフェッショナルケア）	31
3 区市町村による健康づくりの支援	32
4 東京都による健康づくりの基盤整備	32
別表2 東京都による基盤整備の概要	36
別表3 東京都におけるこれまでの取組	37
別表4 歯科保健目標「いい歯東京」	39
＜参考＞	
東京都歯科保健対策推進協議会設置要綱	42
「西暦2010年の歯科保健目標」の達成度評価実施要綱	44
東京都歯科保健対策推進協議会専門部会設置要綱	45
東京都歯科保健対策推進協議会委員名簿及び東京都歯科保健対策 推進協議会専門部会委員名簿	46
「西暦2010年の歯科保健目標」の達成度評価及び 「いい歯東京」の検討経過	47

【凡例】

○基準値

平成 10 年度から 12 年度にかけて実施した各種調査の結果から「西暦 2 0 1 0 年の歯科保健目標」の目標項目ごとに設定した基準の値

○最終値

平成 21 年度に実施した各種調査の結果から「西暦 2 0 1 0 年の歯科保健目標」の目標項目に対する調査結果の値

○参考値

目標値ではないが、目標設定時と現状を比較するために用いた値

○現状

平成 21 年度から 22 年度にかけて実施した各種調査結果の値

○現在歯の状況、喪失歯の状況及び歯周組織の状況については、10 歳ごとの節目年齢の値として活用できるように、例えば 40 歳（35 歳から 44 歳まで）、50 歳（45 歳から 55 歳まで）・・・という区分で解析した。ただし、80 歳については、8 0 2 0 の達成状況を正確に評価するため、75 歳から 84 歳という区分ではなく、80 歳だけの値で解析した。

○「—」 数値なし



いい歯東京